

大きく成長

園長 小林 淳一

園庭で年長・年少組の子どもたちが育てているチューリップの芽が伸び始め、もうすぐやってくる春の訪れを感じます。この一年間子どもたちは、先生や友達と一緒に様々な経験を重ね、大きく成長しました。

年長組は、ASOKA・WAKOフェスティバルミュージカル「月のうさぎ」ファイナルに向け、練習を重ねています。表現する楽しさや喜び、そして、友達と協力して劇を創ることを経験して、一段と成長した姿を見せてくれています。

「月のうさぎ」について、私が思っていることを留めておきたいと思います。

「月のうさぎ」のテーマは、「いのち」の輝き、大切さ、つながり…。自らの「いのち」を捧げて、火の中に飛び込むうさぎの姿は、胸に迫ります。美しさ、健気さは、私たちに人としての生き方を教えてくれています。「使命」という言葉があります。「命を使う」と書きます。何のために私たちは生まれてきたのか、何のために自分の命を使うのか、人生の大きなテーマです。自分が自分がのわがままの世の中であって、「人のために」自分の命を使う。その潔さは、人生経験がない、小さな子どもにあってもわかります。それは、わかるというより、子どもの心に灯をともしように「感じる」のではないかと思います。

32年間何百人という子どもたちが、「月のうさぎ」の演技を通して、人間の生き方そして、他の生きものとのつながりを学んできたことか。

未来に生きる、子どもたちにとって、これほど有意義な教育を行ってきたことに誇りを感じます。

ここに、「月のうさぎ」は一応のピリオドを置きますが、「月のうさぎ」に込められた「思い」「精神」は、これからも、アソカ教育の根幹として受け継ぎ、波紋のように広げていきたいと思います。

四月から、年中組は、一番上の組になります。幼稚園の顔として、進んでがんばってくれと期待しています。年少組は、お兄さん・お姉さんになって、自信を持って生活していくと楽しみにしています。

ご家庭におかれましては、一人ひとりの成長を認め励まし、新しい生活へ期待と意欲をもってスタートできるよう、子どもに声を掛けていただければうれしく思います。

最後になりましたが、アソカ幼稚園の教育活動に対して、一年間ご支援・ご協力をいただきましたことに心から感謝とお礼を申し上げます。ありがとうございました。